

教育委員会 平成 25 年度 11 月定例会会議録

○日時 平成 25 年 11 月 13 日（水） 9 時 30 分開会、10 時 21 分閉会

○場所 鎌倉市役所 全員協議会室

○出席委員 山田委員長、下平委員、齋藤委員、安良岡教育長

○傍聴者 3 人

○本日審議を行った案件

1 報告事項

(1) 委員長報告

(2) 教育長報告

(3) 課長等報告

ア 平成 25 年度全国学力学習状況調査の結果について

イ 行事予定（平成 25 年 11 月 13 日～平成 25 年 12 月 31 日）

2 議案第 18 号 鎌倉市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の申し出について

3 議案第 19 号 鎌倉市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について

4 議案第 20 号 教育財産の取得の申し出について（国指定史跡北条氏常盤亭跡）

山田委員長

定足数に達したので委員会は成立した。これより 11 月定例会を開会する。

本日の議事日程はお手元に配付したとおりである。朝比奈委員から本日の会議を欠席する旨の届出があったので、ご報告する。

本日の会議録署名委員を下平委員にお願いする。

では、日程に従い、議事を進める。

1 報告事項

(1) 委員長報告

山田委員長

立冬を過ぎ、冷え込んだ朝晩に霜が降りる季節、霜月を迎えた。今年もあと一ヶ月半というのは信じ難い思いであるが、一方で秋の夕陽に照る山紅葉と申すが、紅葉が、少なくとも私どもの近所では一向に進んでおらず、秋の風情だったものが、もはや冬の風物詩になって

いるのかなと感じている。そしてそういった中、10月23日に教育長と齋藤委員と私で第一中学校を訪問してきた。この学校は高さが28mと伺っており、海沿いで心配していたが、学校自体は津波の場合には安全な地域にあるが、周辺の子どもの居住地域のほとんどが由比ガ浜から材木座あたりの侵水地域であるということで、非常に防災に対する意識の強い学校だと感じた。この8月に鎌倉ジュニア防災フォーラム2013という、気仙沼から鎌倉へと題して、気仙沼の階上中学校から生徒と先生方8名ほどを迎えて、フォーラムが開催された。階上中学校が実際に被災された体験が、そこから学んだこと、そして第一中学校の生徒さんが自分たちの身に起きた場合にどうするかと、いろいろ考えた結果を八幡さまなどを使わせてもらって、協議したり発表したとのことである。階上中学校では、驚いたことに生徒自身が防災本部長になったりして実際の避難所を仕切ったりということがされているということである。

第一中学校では、もし災害が起きた場合に対して、逃げ地図作りというもの自治体とともに作っていて非常に細かな避難経路が地図にびっしりと書かれていて、私たちも拝見した。

実際海と反対側に逃げようという意識が働くが、実際にはそこは崖崩れがあるとか、その先のここが通行止めになる可能性があるとか、いろいろなことがあるそうで、非常に意識高くなさっていた。授業風景では、中学生なのでもう少し冷めているのかと思っていたが、入るやいなやこんにちはとあちこちから声かけがあり、小学生みたいにかわいいなと感じた。

たまたま私たちが拝見した授業では先生も大変生き生きとしていて、理科なので、例えば虫に感情があるかと先生が質問すると「はい、はい」と手が挙がり、生徒からいろいろな意見が出ていて、とてもアクティブな授業風景を拝見した。またICTというコンピューターを使った、パワーポイントの発表を製作する授業では、こちらも非常に細かな画面サイクルができていて皆さんもうこんなことが出来るのだなと感心して見ていた。いくつか近くの方たちは私たちに対して発表していただいて、それも非常に立派にされていた。

それから10月29日に第11回総合計画審議会が開催されて、こちらでは総合計画に添付する私ども委員会としての答申書について議論した。そこには計画に書ききれなかった私たちの見解をまとめてある。この日の午後には教育こどもみらい常任委員会の委員の皆様と私ども教育委員との懇談会が開かれて、双方の活動について報告をしたほかに、教育にまつわるそれぞれの見解などを意見交換した。

11月に入って3日に、鎌倉彫祭りが開かれ、鎌倉彫会館に行ってきた。夏に市内の5、6年生が作った絵皿が展示されていて、なかなか斬新で、鎌倉彫ではなかなか出てこないような図案に、鎌倉らしい海と山との風景だとか、未来的な宇宙人みたいなものがあつたりとか、豊かな発想に触れてきた。会館の方とも話したのだが、作った後これをどのように、このお皿をどのように使うか、活用するかといった提案も入ってくるとなおいのかなどという話をした。

それから11月6日に、御成中学校へ下平委員と齋藤委員と教育長と訪問した。

どなたかご報告をお願いしたい。

下平委員

11月6日に御成中学校の教育課題指定研究発表会に伺ってきた。

公開授業を拝見し、全クラス回って各先生方がそれぞれ工夫して、道徳教育その他の教育の姿を拝見した。その後分科会にも参加して、先生方と教育の在り様に関して質疑なども拝見

した。その後全体会が行われた。まずは御成中学校は9月に悲しい事故があったが、その生徒さん方が授業に参加していてひとまずほっとした。

校長先生にもその時の件で声をかけたが、やはりお疲れの様子を感じられたが、おかげさまで元気に登校してくれていてほっとしているという声を聞いた。

この教育課題指定研究は道德教育についてということで、鎌倉女子大学教授の山崎先生の指導の元、先生方が道德教育に真摯に取り組んで下さった結果、最終的にはそれぞれ学校全体の規範意識や思いやりに対する意識が向上したという結果が出ているということで、やはり日頃先生そして生徒たちが思いやり、規範などそういったものに対する意識を持つことによって全体的な意識が向上するという結果が出て素晴らしいと感じた。

授業もそれぞれ先生方が工夫して行っていて興味深い授業風景を見ることができて、非常にうれしかった。

この御成中学だけでなく私が学校見学をしていて時折気になっていたことがあるのだが、クラスのムードはかなり先生の気というか、目には見えないが心的エネルギーみたいなものに影響されると強く感じる。やはりその表れとして、先生の姿勢、アイコンタクトをしっかり取るかとか、声のメリハリはかなり重要だということを今回改めて感じた。強弱、抑揚とか声のキレ等そういったものが先生にあると、集中力がきゅっとなったり、ほぐれるところが出来たり、とクラスの活気のようなものがそれによって促されるひとつの要因でもあるのかなと思った。

それと先生と生徒たちで輪読をすることがあったが、生徒たちはもうちょっと姿勢を正して声を大きく出す輪読を指導していただくと、それに伴って心のエネルギーも上昇してくるのではないかと感じた。

特にこの全体会で鎌倉女子大の山崎先生が、音読の重要性を話して下さった。そして期せずして教育長と私で背中合わせになって音読をするという、非常に貴重な体験をさせていただいたのだが、その実習をして感じたことは二人で交替で輪読をしていくので、背中合わせだから見えない、向かい合わせではなくその人に聞かせようとする、そこに思いやりの心が実感出来る、育つであろうことを体験できて非常に良かった。

常日頃から人に聞こえる、聞き取りやすい声を出すというのはやはり思いやりの第一歩だと感じているので、先生方も今一度、ハリのある声を出すとか、そして生徒たちもせつかく輪読の機会があれば、姿勢を正して大きな声を出せよというような指導をしていただくということも重要なのではないかと見学をしていて、御成だけではなく、感じていることのひとつだ。

それとそれに関連して、女性の先生に見られる傾向として語尾を強める話し方が見受けられる。これは非常に攻撃的に聞こえる話し方であるということで、日本語は本来高低アクセントの特徴があるので、やはり攻撃性とか反発心とか、逆に否定的な印象を与えやすいということでもあまり社会でも好まれないことがある。特に女性の先生に、各校とも時々授業時にそういった言葉遣いを感じられるので、それが気になった点であるので引き続き確認していただけたらと思う。

細かなことも言ったが、道德に関しての取り組みが成果があげていることが喜ばしく感じた。

山田委員長

その翌日7日には最後の総合計画審議会があり、総合計画と答申書を会長から市長に手渡して、子ども1年半に渡る委員会が終了した。これが次の第三次基本計画で、こちら今のところ総合計画審議会が作ったものになっているという見かけになっているが、これが承認されていたのが鎌倉市になると思うが、それとこの答申書というものが渡された。この会議は農業委員会、商工会議所、人権団体、福祉、図書館などいろいろな団体の代表が出席して、それぞれの見地から計画全体を見渡してきた。私は特に教育委員会ということもあり、鎌倉で育ち生きていくこれからの子どもたち、そしてその子どもたちを育てる親の視点、そして伝統をこの世の中に伝えていかなければならない立場もふまえて、今回の計画を見てきた。いろいろなことを提案してきて、時には私たちが実施計画に直接関わるような提案もさせていただいたが、そして実際に盛り込まれたものには限りがあったが、特に教育の面では、これはと思ったものは取り入れていただき、非常に有意義な時間を過ごしたと思っている。

特に私たちが生きてきた時代とは違い、今の子どもたちは生まれながらにしてインターネットがあり携帯電話があり、そして月への旅行も現実化して、そんな時代として日本もアニメやいろいろなもので評価が高くなっていて、私が海外にいたときには日本人として肩身が狭い思いが多かったが今や日本は憧れの対象でもあるし、そういった時代に生きていく子どもたちの世の中の動きの中で、鎌倉市が残していかなければいけないもの、そして変わらなければいけないもの、それをしっかりと取捨選択する時期に来ているのではないかと思うので、それをふまえて今回の計画を期に実施計画に対して大いに期待したいと話した。

そしてこの日に家業の宗徧流で地元第二中学校の職業体験を受け入れた。歴史好きな男子数人が来てくれたが、作務衣を着て一日掃除やお茶の準備等いろいろなことをしてくれたが、最後に皆さんでお菓子とお抹茶をいただき今日一日の感想を聞いたところ、お茶が歴史と密接に関係していることが面白かった、今日の貴重な体験を家庭や学校に戻ったり周囲の友達に発信していきたいと感想を述べていた。ここで興味深かったのは、発信という言葉で、私たちの時代には発表するとか伝えたいとかそういった言葉で言ったと思うが、皆さん発信という言葉を一様に使っている。伝えるということもただ言葉で話すだけでなく、SNSを含めいろいろなツールがあるわけで、デジタル世代の感覚を非常に感じたのと、ともすればそれに対するフィードバックがある、すぐに戻ってくるスピード感のある時代に生きているのだと感じた。

またこのほど、文科省が英語教育を3年生から始めて5年生から必修教科になるという話がでていますが、それは去年義家政務官が、鎌倉の中学校を訪問した際にもその朗報を伺っており、いよいよだなという感じを受けていた。そして英語を教える教員をどう確保するかが課題になっていると伺っているが、もちろん教員を育てるこれからの教育も大事だが、こういった時代、インターネットにおいても良質な教材がたくさん出ている。もちろん良いもの悪いものがあり、その精査は必要だがそういった教材をうまく活用して、先生がリードして進めていく中で、クロス教科という教科をつなげて合わせて効果的に学ぶ、例えば世界史や地理の時間で、外国の国の名前を英語で覚えるとか、数学で大きな単位の計算になったときに数の数え方を英語で同時にやってしまうとか、国語でアルファベットを習ったりというようないろんな手法があると思うので、教科を超えた、散らばせて学ぶということ、身近に考えていけるのではないかと思う。

(2) 教育長報告

安良岡教育長

11月1日に小学校6年生の陸上記録大会が善行体育センターで行われた。小学校6年生が一同に集まって100メートル走から長距離、走り幅跳び、高跳び、ボール投げ等行うが、子どもたちはこれに向けてずっと練習をしていくのだが、朝、或いは放課後自分たちでやろうという思いを持ってこんな風に練習していこうと取り組んでいる、御成小学校の6年生の姿を見ていると、本当によく練習していると思う。子どもたちが自分たちでこのように練習していこうと目標を持てる授業をこれからも出来れば続けて、取り組んでいきたいと思う。先生方は善行まで子どもたちの引率をしていくのも大変なことだが、子どもたちがあのような競技場で実際に競技が出来るという経験もまた素晴らしいことだと思う。このような子どもたちの取り組みができる授業は今後も続けていきたいと思う。

(3) 課長等報告

報告事項 ア 平成25年度全国学力学習状況調査の結果について

山田委員長

課長等報告に移る。まず、報告事項ア「平成25年度全国学力学習状況調査の結果について」報告をお願いする。

教育指導課長

報告事項のア「平成25年度全国学力学習状況調査の結果について」の報告に入る。

議案集については1ページ、別添での資料をご用意いただきたい。

平成25年4月24日に実施された平成25年度全国学力・学習状況調査の本市の結果がまとまったので御報告する。議案集は1ページ、別添資料「平成25年度全国学力・学習状況調査の結果について」をご参照いただきたい。

別添資料1ページに「本市の実施状況」、及び「本市の調査結果概要」として教科別の平均正答率を掲載した。

本市の調査については、小・中学校ともに、各教科良好な結果であった。特に、中学校の数学A問題・B問題において、全国平均正答率及び神奈川県平均正答率を大きく上回っており、大変良好であったと言える。これは、過去の調査結果でも同様の結果が出ており、バランスよく基礎・基本の習得とそれらを活用する力の育成が図られていると考えられる。

教科ごとの集計値・グラフは、10ページ以降の〔資料〕を御参照いただきたい。

2ページから7ページには、教科ごとに、「概要」、「領域別の課題等」、「指導改善に向けて(指導のポイント・具体例)」をまとめた。

小学校国語の結果は全般的に良好なものであったが、複数の内容を含む文や文章を分析的に捉えたり関連付けたりしながら、自分の考えを書くことについて課題が見られた。

小学校算数については、A問題B問題ともに、全国、県よりも高い正答率であったが、記

述する設問においては、必要な事柄を過不足なく記述することに課題が見られた。

中学校国語の結果については全体を通して良好だったが、文脈に即して漢字を正しく書くこと、語句の意味を理解し文脈の中で正しく使うなど、言語事項に関する課題が見られた。

中学校数学については、A問題B問題ともに、大変良好であった。しかし、記述の問題に関しては、数学的な見方や考え方について、数学的に説明することに課題が見られた。

7ページから9ページには、児童生徒質問紙調査の結果から、特徴が見られる「学習に対する関心・意欲・態度」、「学習時間等」、「基本的生活習慣」、「自尊意識」「規範意識」等の項目について本市児童生徒の傾向をまとめた。

小学校については、家庭での学習習慣には課題が見られるものの、基本的生活習慣の定着や、規範意識の改善が見られた。

中学校においては、睡眠時間等、多少の課題は見られるが、家庭での学習習慣や朝食喫食率など基本的な生活習慣、また、規範意識についても前回の悉皆調査より改善された。

9ページには、「今後の学校での取組」をまとめている。

学習面では過去の調査と同様、良好な結果を示している。また、いじめに対する児童生徒の意識が、過去の悉皆調査よりも改善されており、いじめ防止の取組等、成果が見られている。

今後も、引き続き、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を図る言語活動の取組を進め、児童生徒が意欲的に学習活動に取り組むことができるような授業の工夫、妥当性、信頼性のある学習評価の工夫等に取り組むことが重要と考えている。

また、全教職員が課題を共通理解の上指導の改善に当たり、家庭や地域と連携して、基本的生活習慣のさらなる定着や規範意識の向上にも引き続き取り組んでいくことが重要であると考えます。

なお本結果のまとめについては、今後市のホームページで公表していく予定である。

以上で、平成25年度全国学力・学習状況調査の結果について、報告を終了する。

質問・意見

下平委員

まずは児童生徒の質問紙に対して、学習や生活習慣やいじめに対する自尊感情が高まったというところが非常にうれしく思う。それと以前教育委員会でもお願いしていたが、単純に数値の比較ではなく、それぞれ問題に対してどこが強くどこが弱いという傾向があるかというようなポイントを中心にまとめて下さり、そして指導改善に向けての項目もわかりやすくまとめていただき非常にありがたく思う。

2点質問だが、ホームページに公表するということだがそれに対してどの程度、どのような公表になるのかということ、指導改善にむけてという項目が今後具体的にどのような場面で先生方の中で共有され、改善されていくかということ等を伺いたい。

教育指導課長

公表の部分については本日見ていただき了承していただいた段階で、これと同じ内容で公表させていただく予定だ。

2点目の結果の活用については、この結果をまとめるにあたり、まず各学校がそれぞれの学校の分析をしている。それを教育委員会が25校分をまとめ、さらに教育委員会としてのまとめが本日提示している内容となっている。そして今後については校長会でこの内容について報告をして、例えば教科の研究会がありそういったところで具体的に教科それぞれの内容についてこういったものをひとつの資料として扱っていく、そういったところにもわれわれ指導主事が参加をしているので、具体の説明をすることもできる。

またそれぞれの学校の内容とこの鎌倉市全体のものを参考にしながら、教科に関する指導ということで、校内研修会などで活用できるものと考えている。

齋藤委員

先日学校訪問を行ったとき、ある学校の校長先生がおっしゃったのに、この学習調査の結果を受けて、日頃学校教育目標があり、それぞれの学年の目標を作り、校内研究を行っている。その中で低学年・中学年・高学年それぞれ学年ごとに取り組んでいるところなのだが、その取り組みがこういったところに成果が現われている、日頃自分の学校の先生方がきめ細やかに子どもたちに賢明に指導しているというところがこういったところにも現われているという手ごたえを感じたとそんな嬉しいお言葉を頂戴した。

先生が懸命にがんばっていると子どもたちもがんばる、だからいい結果が生まれ子どもたちが育っていくのだと話した。さきほども基礎基本が定着しているという話だが、そういったところに現われていくのだと私も大変嬉しくなった。以上報告まで。

山田委員長

それでは報告事項のア 「平成25年度全国学力学習状況調査の結果について」は了承することによいか。

(報告事項アは了承された)

報告事項 イ 行事予定 (平成25年11月13日～平成25年12月31日)

山田委員長

次に報告事項のイ 行事予定についてだが、記載の行事予定について、特に伝えたい行事等があれば願います。

教育部次長兼教育総務課担当課長

行事予定について議案集2ページから4ページをご参照願いたい。
4ページの最後にあるが本日13日から12月8日まで鎌倉国宝館において、特別展が開催される。なお大規模修繕のため、特別展終了の翌日から約6ヶ月間長期休館となる。

質問・意見

下平委員

仏像入門 ミホトケをヒモトケとは大変良いキャッチコピーだと思ったが、このようなものはどのようにネーミングされるものなのか。

鎌倉国宝館副館長

このキャッチコピーについては大変評判がよく、うまいじゃないかと市民の方からの声を時々頂戴している。私ども職員で考えていて、これ以上のものは実は出てこないものだから3年使用している。またいいコピーがあれば変えたいとは思っているが、なかなか出ないので引き続きこのコピーでやっていきたいと考えているところである。

山田委員長

良いものは継承していかれたらよろしいかと思うのだが。

行事予定を見ると国際色豊かな講座があったり、成人セミナーの国際金融の動向とアベノミクスなど非常に興味深いものもあるが、高齢者のITリテラシーを高めるような、例えば災害時にはSNSが非常に有効だという話もあり、高齢者がそれを手軽に使えるという、そして瞬時に有事に使えるような教育も必要だということが出ていたのでご参考にして頂きたいと思う。

(報告事項イは了承された)

2 議案第18号 「鎌倉市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の申し出について」

山田委員長

なお、この議題の審議にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第5項で「教育委員会の委員は、自己、配偶者若しくは三親等以内の親族の一身上に関する事件又は自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。」とされているが、後段のただし書きで「ただし、教育委員会の同意があるときは、会議に出席し、発言することができる。」との規定があるので、安良岡教育長にはこのまま会議に参加していただくことでよろしいか。

(異議なし)

山田委員長

日程2、議案第18号 「鎌倉市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の申し出について」を議題とする。議案の説明についてお願いします。

教育部次長兼教育総務課担当課長

議案第18号 鎌倉市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の申し出について、提案理由を説明させていただく。

議案集は5ページから7ページを御参照いただきたい。

教育長の給料月額、平成21年11月1日に市長であった者の任期に係る在職期間である平成25年10月31日までの間、市長、副市長に準じ、特例措置として、給料月額の7/10を減じた額としていた。

平成26年1月1日以降についても、市長、副市長の給料月額は減じられることから、教育長についても同措置を行おうとするものである。

以上のことに関し、条例の改正を行うことについて、鎌倉市長に対し申し出を行うものである。

なお、施行期日は、平成26年1月1日からとする。

意見・質問

(採決の結果、議案第18号は原案どおり可決された)

3 議案第19号「鎌倉市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について」

山田委員長

日程3、議案第19号「鎌倉市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について」を議題とする。議案の説明についてお願いします。

学務課担当課長

日程第3、「議案第19号、鎌倉市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針につきまして」、議案の説明をさせていただく。

議案集は、8ページから9ページをご参照いただきたい。

本件は、県費負担教職員の人事異動に係り、神奈川県教育委員会から示された『神奈川県公立学校教職員人事異動方針』を受けて、平成26年度の教職員人事事務が円滑に行われるよう、基本方針を策定しようとするものである。

基本方針は、第一として「適材を適所に配置すること」、第二として、「教職員の編成を刷新強化すること」、第三として、「全市的・全県的視野に立って、広く人事交流を行うこと」の3点である。

これらの基本方針に基づき、次の3点を平成26年度における人事異動の重点としてご説明させていただく。

1つ目の「特色ある学校づくりを目指した適材・適所への配置」では、各学校が目指す「創意工夫を生かした特色ある学校づくり」に係り、学校長は、自らの経営方針を達成するため、人材の確保を求めるところであるが、教育委員会としては、各学校長の要望をかなえるような教職員の異動について極力配慮していきたいと考えている。

2つ目の「若手教員導入による編成の刷新」では、若手教員を軸とした新規採用及び他市町からの転任採用を考えている。

新規採用については、平成25年度は、小・中学校あわせて18人を配置することができた。来年度も適切な数の採用を県教委に要望していく。また、他市町からの転任採用によって、

中間年齢層の教員の確保にも努めていきたいと考えている。

3つ目の「他市町及び行政機関との人事交流」では、他市町や行政機関での経験を生かして、鎌倉の教育を担える人材を確保するために、各関係機関に積極的に働きかけて人事交流を行いたいと考えている。

これらの重点をもとに、関係機関の積極的な協力のもとに、教職員の適正な配置に努めていく。

質問・意見

下平委員

現時点で来年度の新任の採用はどのような状況になっているか。

学務課担当課長

来年度の新採用については、今年度の定年退職者や或いは勸奨退職で辞める先生、自己都合で辞める先生もおおり、あとは高校や他県へ行きたいという教員もいる。

そういった数がまだ把握できていないので、すべて含めトータルで小学校何名、中学校何名という形で数を出していくのだが、だいたい小学校で10名程度と考えている。中学校では10～15名新採用が獲れたらいいと考えている。

ただ県の方で採用している人数があるので、それが鎌倉市にどれだけ配当されるかは、まだこれから先の話になるので、現時点ではまだはっきりした数は申し上げられない。

山田委員長

県の採用は、市の方である程度何人くらい必要だと分かった段階で採用が終わっているのか。要するに必要な人数が入るのかどうかという質問である。

学務課担当課長

前年度のうちに定年退職者については人数が把握ができるので、鎌倉市では来年度小中学校で何人新採用で取れるという数は県に報告してある。県はそれを全県まとめて採用の時に、今年は小学校で450名ほど採用されたので、そのように県の方は動いている。

(採決の結果、議案第19号は原案どおり可決された)

4 議案第20号 「教育財産の取得の申し出について(国指定史跡北条氏常盤亭跡)」

山田委員長

日程の4、議案第20号 「教育財産の取得の申し出について(国指定史跡北条氏常盤亭跡)」を議題とする。議案の説明についてお願いします。

文化財課担当課長

議案第20号「教育財産の取得の申し出について」提案の理由を説明させていただく。

議案集の10ページから13ページをご参照いただきたい。

国指定史跡「北条氏常盤亭跡」は、鎌倉幕府七代執権である北条政村及び八代執権の連署である北条義政らの別邸跡と推定される遺跡である。「北条氏関係の館遺構が良好な状態で遺る地」として、昭和53年12月に国指定史跡に指定されている。鎌倉時代後期の武家屋敷跡がほぼ旧状に近いかたちで残されている場所は、他にはなく「谷戸の風景」を伝える貴重な史跡である。

史跡指定面積は約11万5,033平方メートルで、社寺有地等を除く約11万1,879平方メートルを、公有地化を進める地域とし、現在までに約9万4,021平方メートルを買収してまいった。

本年度も史跡の保存を図るため、市長に「教育財産の取得の申し出」をしようとするものである。

該当する土地は、11ページの「土地取得物件」に記載のとおり、史跡北条氏常盤亭跡内の鎌倉市常盤字御所ノ内783番、同786番1、同787番、常盤字一向堂856番、同859番の土地の5筆であり、公有地化を進める地域内に所在している。

取得に当たりまして国県からの補助を受け買収を行う。現在、内示を受けているのは、補助率、国8/10、神奈川県0.1/10の内示をいただいている。

質問・意見

山田委員長

以前教育委員で視察をしたのはこの付近か。

文化財部次長担当次長

議案集11ページに地図があり、これをご覧いただきたい。

山田委員長

取得した土地がどのように活用されるのか。

教育財産ということだが特に教育的にどのように活用されるのか教えて頂きたい。

文化財課担当課長

基本的に文化財保護の趣旨として、文化財保護と活用という趣旨がある。当面は保護を主体として、今後近い将来活用に向けていろいろ考えていかなければならない。今現在は保護として、一部ご覧になったところ、入れるところはあるので、今後その場所を今は維持管理として草刈り等で維持をしている状況であるので、この広い範囲についてどうしていくのか、保存・管理の計画を考えていかなければならない。

山田委員長

活用するには大変資金がかかってくると思うので、なかなか今の財政状況では難しいのではないと思うが、このような土地が市内にたくさんあると思うのでゆくゆくは考えていか

なければならぬと思う。

(採決の結果、議案第20号は原案どおり可決された。)

山田委員長

そのほか委員の皆様から何かあるか。

下平委員

地元などでお母様方から学校のこと、先生方のこと、子どもたちのいじめ問題とかを耳にすることもある。よく新聞等でも隠ぺい体質みたいなことが語られるし、何か事があってから知りませんということとはできない。どうかこれからも電話だとか色々な場所で皆様方が耳にしたことは私たちも知っておきたいと思う。教育委員という立場で何ができるという訳ではないし、事を大きくするつもりは全くないのだが、せつかく色々な学校を訪問する機会があるので、そういう時に多少そういう事があるということがわかっているだけでも見方が違って来るような気がする。ただ見てきて楽しかったと帰ってくるだけでは役割を果たせたような思いがしないし、言っていることとか耳に入ったことなど、これからも私どもの耳にしっかり入れておいて欲しい。皆ときちんと協力しながら対処しているという立場でこれからも活動したいと思う。

山田委員長

以上で本日の日程は全て終了した。これで11月定例会を閉会とする。